

# RUN-MAX TEFLON HOSE(#6) & HOSE END(#6)

●ラン・マックス テフロン・SSメッシュホース **カラー:P10参照**



品番	サイズ(#)	内径(mm)	外径(mm)	常時使用圧力(kg/cm <sup>2</sup> )	バースト圧力(kg/cm <sup>2</sup> )	価格(1m)
300-06	6	8.3	11.0	230	690	¥3,000

安全の為に、燃料系統及び高圧ラインには是非おすすめです。

## 〔ラン・マックス テフロンメッシュホース(#6)の特徴〕

液体(ガソリン.etc)類は特に壁面部分を流れ、中央部分はあまり流れていません!! イラストでおわかりのように一般的(従来)の物では壁面内部に凸凹が有るので乱流がおこり流速がおちます。当然それにともない流量も稼げません。しかしオリジナルテフロンメッシュホースは、壁面内部をストレートにする事により抵抗なくスムーズな流れになります。

〔他社製品〕

(断面)

〔ラン・マックス製品〕

(断面)

〔重さの比較〕

- アールズ #6 オートフレックスホース ……1m当り 210g
- アールズ #6 パフォーム0フレックスホース ……1m当り 206g
- ラン・マックス #6 テフロンホース ……1m当り 118g

約43~44%の軽量となります!!

注意 ※エコノフィッティング(ホースバンド類)での締め付けは出来ません。ホースエンド類は下記のみのご使用となります。

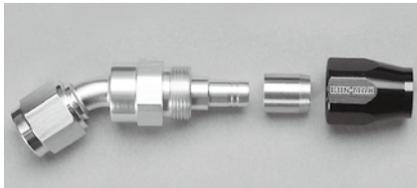
●ラン・マックス ホースエンド(テフロン・SSメッシュホース用) **カラー:P10参照**

■ストレート



品番	ANサイズ	価格
R50006	6	¥1,100

■30° ベントチューブ



品番	ANサイズ	価格
R53006	6	¥2,700

■45° ベントチューブ



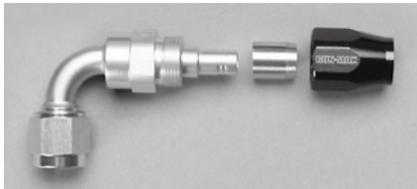
品番	ANサイズ	価格
R54506	6	¥2,700

■60° ベントチューブ



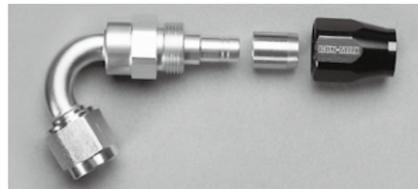
品番	ANサイズ	価格
R56006	6	¥2,700

■90° ベントチューブ



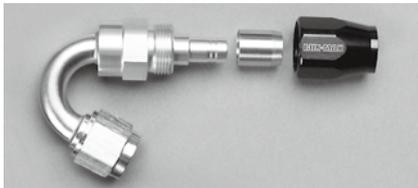
品番	ANサイズ	価格
R59006	6	¥2,700

■120° ベントチューブ



品番	ANサイズ	価格
R51206	6	¥3,000

■150° ベントチューブ



品番	ANサイズ	価格
R51506	6	¥3,000

■180° ベントチューブ



品番	ANサイズ	価格
R51806	6	¥3,000

■リペア オリーブ

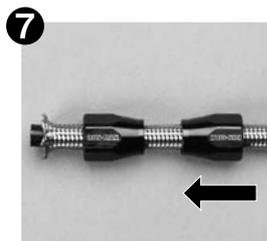


品番	サイズ	1ロット	価格
R59906	6	10	¥3,000

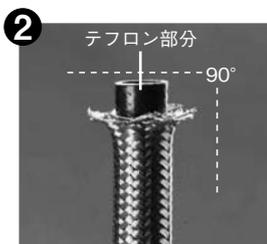
## 〔テフロン・SS ホース (#6) ⇄ ホースエンド (#6) 組み付け手順〕



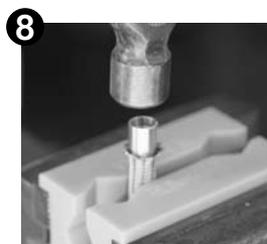
1 ホースの切断には専用ホースカッター (P343) の使用をおすすめします。又、サンダーやのこぎり歯等を使用する場合には、出来るだけ薄い刃をセットして下さい。



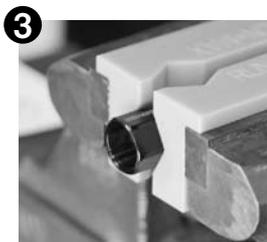
7 この時点でホースにはソケット部が2個差し込まれた状態になります。(それぞれのネジ部が写真のように外側に向いているかを確認して下さい。)



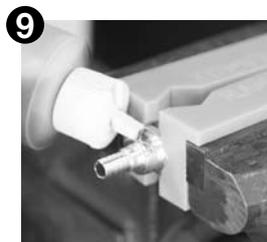
2 次にホースの切断面(特にテフロン部先端)は出来るだけホースに対し垂直になるよう慎重にカットして下さい。  
 ※重要：特に切り口が荒れていたりバリがある場合は丁寧に作業を行って下さい。  
 ※写真では分かり易くする為、メッシュ部分を折り曲げています。



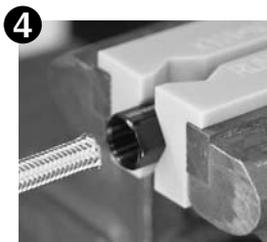
8 次にホースを軽くバイスで挟み、オリーブの細くなっている方(テーパ部)をホース側に向け奥近くまでまっすぐにしっかりと打ち込んで下さい。斜めになっている様であればやり直して下さい。



3 次にホースエンド/ソケット部の穴の大きい方(ネジきり部)を手前に向けバイスで挟みます。その際キズ防止の為 P342 のバイスジョー(専用工具)の使用をおすすめします。



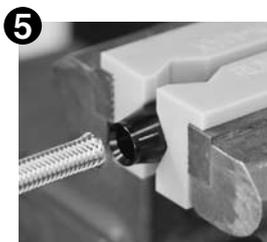
9 次にナット・ニップル部分をバイスで挟み、P186 のアッセンブリーループ(専用潤滑剤)などを塗布して下さい。(この作業は必ず行って下さい。)



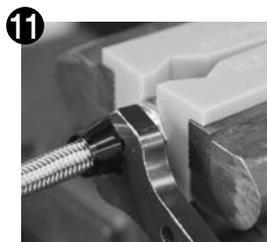
4 次にホースをホースエンド/ソケット部に差し込む前にホース両端を確認し、ささくれの小さな方から差し込み作業を行いますとホースを容易に差し込むことが出来ます。



10 次にソケット部にホース/オリーブをセットした物とナット・ニップル部分の組付けですが、まず工具などを使用せず固くなるまで手で締め込んで下さい。



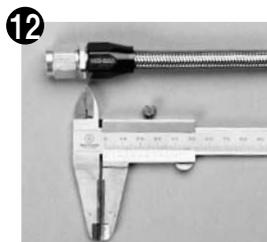
5 次にホースエンド/ソケット部の穴の小さい方(ネジなし部)を手前に向けバイスではさみ、手順④のホースのささくれの小さな方から差し込み作業を行います。



11 次に本締めを行います。その際滑り防止・キズ防止の為、アルミ製ホースエンドレンチ(専用工具)の使用をおすすめします。



6 その際メッシュ部分のささくれが広がる様であれば、抑えながら差し込んでください。(この作業は力が必要になります。)



12 最後にニップル部とソケット部のクリアランスをチェックして下さい。1.0~1.5mmが適正範囲です。